

平成30年度 第1回大阪府立今宮高等学校 学校運営協議会 議事録

日時：平成30年6月9日（土）15：50～17：00

場所：本校 校長室

委員（敬称略）：

| | |
|-------|------------------|
| 吉村 和彦 | 芦屋大学特任教授 元今宮高校校長 |
| 向井 秀俊 | 大阪市立木津中学校校長 |
| 山本 英夫 | 戎橋筋商店街振興組合 事務局長 |
| 川島 経正 | 自彊会会長 |
| 西岡 大生 | 後援会会長 |
| 宮崎 次郎 | P T A会長 |

1. 校長挨拶

- ・平成30年度より、全府立学校に学校協議会を移行して学校運営協議会を設置する。委員の任期はリセットになる。
- ・今年の入学者選抜の倍率は1.21倍であった。近隣の中学生はまた減少する見込みである。広報などにおいてより一層努力する必要がある。
- ・3月に新学習指導要領が公示された。今年の1年生から英語を始めとした大学入試制度が変更される。
- ・府の選抜でも、英語の資格を活用する受験生が倍増している。
- ・働き方改革の一環、また生徒のバランスのとれた成長のためにノークラブデーが導入された。さらに進めていく方向である。

2. 学校運営協議会の説明（事務局・教頭）

- ・学校協議会から学校運営協議会に移行して大きく変化した部分は、
 - ① 学校の「基本的な方針」（「学校経営計画」のめざす学校像、中期的目標）について「承認する」となったこと。
 - ② 職員の任用について、「基本的な方針」に資する事項で、大阪府公立学校教職員人事方針等に反しない限度において意見を取り扱うとなったこと、である。
- ・第7条（委員の任期）、第10条2（議事）委員の過半数以上の出席が必要、第11条（年3回の実施）等を説明。

3. 協議会委員および事務局員紹介

4. 会長・副会長選出 会長は吉村教授、副会長は向井校長に依頼。異議なしで承認。

5. 事務局からの報告

- ① 保護者から意見について（本協議会に対する意見） … 特になし
- ② 本年度の取組みについて
 - (1) 学校経営計画の「1 めざす学校像」「2 中期的目標」ともに変更はなし。

- (2) 「3 本年度の取組内容及び自己評価」の中期的目標「1.高い志を持って進路を切り開いて行く力の育成」の今年度の重点目標「今宮ブランドの意識共有と高揚」の「(1)保護者様満足度の高位維持」で昨年度満足度は97%、この数字を大切にしている。
 - (3) 国際交流の取組みをさらに進めたい。
 - (4) センター試験受験者数を維持する。
 - (5) 授業における ICT 機器の活用度を向上させる。
 - (6) 英語検定受験の推奨をさらに進める。卒業時準2級以上保持60%以上をめざす。
 - (7) 図書館の活用度を向上させたい。
- 以上の取組みを通して、「生徒の心に火を点ける」教育活動を進める。

③ その他

(1) 個人情報の管理

同窓会名簿が詐欺で悪用されている。注意を喚起する必要がある。

(2) 教科書採択について

現在、来年度に使用する教科書を各教科で選定中。第2回運営協議会で報告する。

6. 協議

① 教育課程について

- ・現在、授業を45分×7限(34単位)で行っているが、部活動が毎日4時過ぎからの開始になったり、夏期休暇が短くなったりと生徒・教員ともに負荷が大きくなっている部分があるのかもしれない。見直すべきならば、新学習指導要領実施のタイミングになるだろうかと考える。
- ・受験対応を考慮すべき一方で、教え込むのではなく、気づきの部分を大切にすることが必要である。
- ・いわゆる「受験校」出身の学生は、これまでいい教員に出会わなかったので自分がそれになりたいという者が多い。知識偏重ではなく、生徒と一緒に考えられるような教員。学生はほとんどが普通科の出身で、じっくり考える気づきの部分があるのが総合学科の特長。多様な学びを担保する必要がある。
- ・気づきがないと自発性が育たない。教員は一通り教えようとする。意識改革が必要かもしれない。
- ・知識量は減らさない、記述式も出題するなどの大学入試の今後の動向も見据えながら今後の課題として考えていきたい。

② その他

- ・書画部による戎橋筋商店街の「父の日」の飾り付けポスターの披露。

7. 次回以降の予定案

第2回 11月16日(金) 6~7限授業見学、その後、第2回学校協運営協議会

*6限 13:55~14:40、7限 14:50~15:35、学校運営協議会 15:50~17:00

第3回 2月8日(金) 15:50~17:00

8. 謝辞(校長)